

市長の政治姿勢について



伊賀 純 議員



一般質問



大豆生田 春美 議員



障がい者支援について

質問.. ヘルプシールを作成配布する考えはあるか伺います。

答弁.. ヘルプシールは、ヘルプマークの片面や手帳などに貼ることにより、周囲の方に理解してほしいことや配慮をお願いしたいことなどをスムーズに伝えることができ、様々な場面で周囲から支援を受けやすくすることを目的としています。県内14市では、宇都宮市、佐野市で作

成し配布しています。宇都宮市のヘルプシールは、障がい名や

理解してもらいたいことを自由に記入できるものなど全27種類あり、配布対象は障害者手帳所持者、難病患者、障害福祉サービス受給者、その他ヘルプシールを必要とする方です。本市において、他市の事例や配布方法等を参考にし、大田原市地域自立支援協議会の当事者部会等

の意見も取り入れながら、障がいを持つなど、配慮を必要とする方が安心して暮らせるよう、導入について前向きに検討します。

質問.. ヘルプシールの配布はいつからと考えていますか。

答弁.. なるべく早い時期に調整して進めたいと考えています。

質問.. キヤノンメディカルの本部機能の一部移転で、法人税など、どのぐらい歳入に影響があると予測されるのか伺います。

答弁.. 令和6年度決算におけるキヤノンメディカルの法人市民税及び従業員の個人市民税の割合は、調定額合計の約7%ですが、具体的な影響を現時点で明確にすることは難しい状況です。
質問.. 歳入減少が予測される中、

市政運営の土台である収入の確保、財源の増収方を伺います。

答弁.. 国から経済対策に係る交付税措置の財源もありますし、公共施設等の利用料や、受益者負担の考え方にのっとり、歳入確保の取組は着実に進めたいと考えています。
質問.. 相馬市長の市政運営について、市民の実感としての受け止めは、未来への夢、将来像、

希望、期待の部分は厳しい声ばかりでした。相馬市長は市民が何を求めているとお考えなのか、ご自身への期待をどう客観視をされているのか伺います。

答弁.. よりよく発展させ、活気ある大田原市をつくってほしいという願いがあることは存じているが今は耐えどき、耐える時期であり、新たな施設整備は考えていません。